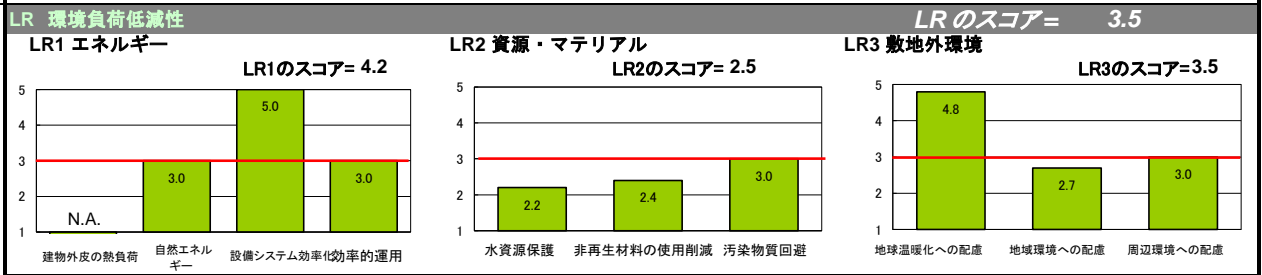
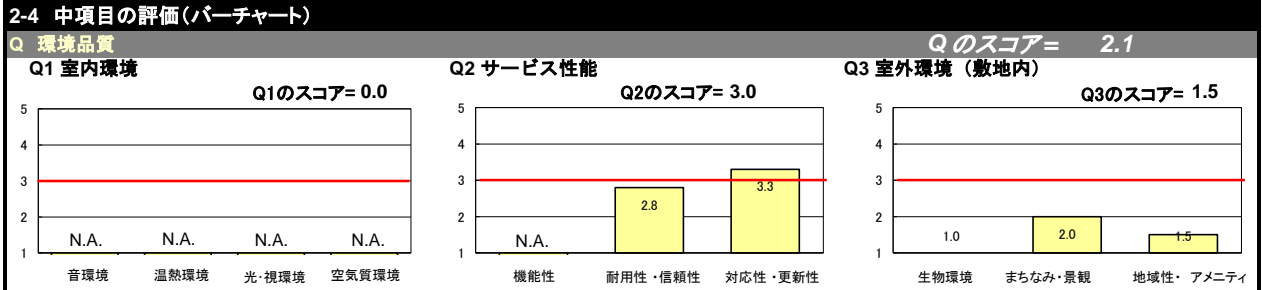
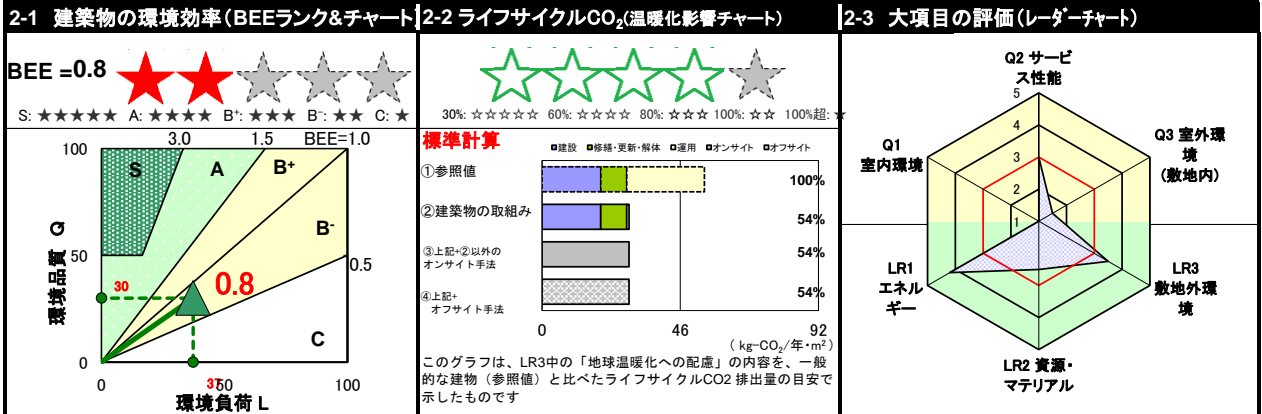


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀火力発電所1、2号機石炭貯蔵建屋	階数	地上1F
建設地	横須賀市久里浜9丁目2260番31ほか8筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2019年4月25日
敷地面積	28,661 m <sup>2</sup>	作成者	三菱日立パワーシステムズ株式会社土木建築技術部長崎事務所
建築面積	22,625 m <sup>2</sup>	確認日	2019年4月26日
延床面積	22,576 m <sup>2</sup>	確認者	三菱日立パワーシステムズ株式会社土木建築技術部長崎事務所



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 建築面積が非常に大きいため、近隣の第1種住居地域と十分な離隔をとり、圧迫感を与えないよう配慮した。		特に無し。
<b>Q1 室内環境</b> (室内環境を快適・健康・安心にする) 適切な消防設備を設置し、安全に作業できるよう配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> (長く使い続ける) 地盤調査に基づく安全な基礎方式と基礎形状の検討を実施している。 外装材等、耐用性・メンテナンス性を配慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> (街並みを豊かにする) 建築物のベースカラーは1~2色とし統一感を図る。爽やかな臨港地区のイメージを踏襲してベースカラーをオフホワイト系、アクセントカラーを寒色系とする。
<b>LR1 エネルギー</b> (エネルギーと水を大切に使う) 高効率機器、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> (資源を大切に使いゴミを減らす) 汎用性の高い材料と効率よい材料をバランスよく採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> (周辺環境に配慮する) 主要な建物等の色彩等は、ベースカラーをオフホワイト系、アクセントカラーを寒色系とすることにより、周辺自然景観色及び周辺景観との調和に配慮する計画とする。色彩により建物等の分節化を行い、視覚的な平面を削減することで圧迫感を抑え、近景における視覚的影響を低減する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される